

● 表彰式報告

経済産業大臣賞のコマツなど、優秀な産業用の省エネ、脱炭素機器 11 件 16 社を表彰
 — 日機連、令和 4 年度優秀省エネ脱炭素機器・システム表彰式を開催 —



表彰式記念撮影

日機連は 2 月 7 日(火)、機械振興会館において、令和 4 年度優秀省エネ脱炭素機器・システム表彰式を開催した。表彰式では、東原敏昭会長(株)日立製作所 取締役会長、代表執行役)の式辞(記事末参照)のあと、経済産業省 製造産業局長の山下隆一氏から経済産業大臣賞(1 件)、資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課長の稲邑拓馬氏から資源エネルギー庁長官賞(2件)、中小企業庁 経営支援部技術・経営革新課長の田辺雄史氏から中小企業庁長官賞(1 件)、経済産業省 産業技術環境局 エネルギー・環境イノベーション戦略室長の三輪田祐子氏から産業技術環境局局長賞(1 件)、東原会長から日本機械工業連合会会長賞(6 件)をそれぞれ表彰した。(文責:日機連)

受賞機器の詳細は、日機連HP(<http://www.jmf.or.jp/content/files/syoene/2022nen/2023syoene2.pdf>)を参照。



経済産業大臣賞

(山下製造産業局長とコマツ吉澤執行役員)



資源エネルギー庁長官賞

(稲邑省エネルギー課長と川崎重工業石垣部長)



資源エネルギー庁長官賞

(稲邑省エネルギー課長と島田理化工業松本社長)



中小企業庁長官賞

(田辺技術・経営革新課長とアスター本郷社長)



産業技術環境局局長賞

(三輪田産業技術環境局室長と㈱マルヤス野村社長)



日機連会長賞

(東原会長と高砂熱学工業山本執行役員)



日機連会長賞

(東原会長とダイヘン木村取締役)



日機連会長賞

(東原会長と安川電機村井部長)



日機連会長賞
(東原会長と三菱電機山下 SG リーダー)



日機連会長賞
(東原会長とオークマ領木副社長)



日機連会長賞
(東原会長と日立造船熊谷顧問)

表彰状授与に続き、来賓を代表して山下隆一製造産業局長の挨拶、優秀省エネ脱炭素機器・システム審査特別委員会の松本洋一郎委員長(東京大学 名誉教授)から審査報告、経済産業大臣賞を受賞したコマツ 執行役員 国内販売本部長の吉澤秀樹氏から、受賞企業を代表しての謝辞があり、表彰式を終了した。



来賓挨拶(山下製造産業局長)



松本委員長審査報告



受賞企業による謝辞(コマツ、吉澤執行役員)

なお、本表彰制度は昭和 55 年度に創設以来、今回で 42 回目となる。この間、社会の要請に応え制度の改善を図りながら事業を推進してきた。令和 3 年度には政府の「2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会を目指す」宣言を受け、この目標達成に貢献すべく表彰名を「優秀省エネ脱炭素機器・システム表彰」に改め、優秀な産業用の省エネ機器・システムのみならず、脱炭素機器・システムも表彰対象に加え、その普及と一層の開発促進を目的に事業を実施している。



東原会長式辞

(東原会長式辞、要旨)

今年度の優秀省エネ脱炭素機器・システム表彰式にあたり、主催者を代表し、一言ご挨拶申し上げます。本表彰制度は、1980年度に発足し、経済産業省をはじめ産業界の皆様、また、審査に携わって頂きました学識経験者の皆様などのご支持を得て、本年度で 42 回目を迎えることができました。この間に、500件を超える優秀な省エネ機器・システムや脱炭素に係る機器・システムを表彰することができ、改めて、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

省エネルギー技術の開発に関しては、政府の適切な施策と産業界の関係各位の並々ならぬ努力が相まって大きな成果を生み、我が国は世界最高水準の省エネ大国となっています。昨今、エネルギー環境は、人類の喫緊の課題と位置づけられ、特に地球温暖化への対応は避けて通れない状況です。その中で、政府は、「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言し、2030年の温室効果ガスの、野心的な排出削減目標を示しました。この実現には、徹底した省エネのための技術開発が必要とされるだけでなく、化石燃料の代わりに、アンモニアや水素を利用する技術、CO₂ を除去する技術、あるいは、CO₂ を有効活用する技術など、脱炭素技術の開発が必要となります。私どものこの表彰制度が、これらの技術開発の促進と、完成した機器・システムの普及に、少しでも貢献できればと思い、今年度もこの表彰事業を実施してまいりました。

本年度の応募総数は 26 件でした。この中から、本会に設置している審査特別委員会の公正な審査により、経済産業大臣賞 1 件、資源エネルギー庁 長官賞 2 件、中小企業庁 長官賞 1 件、産業技術環境局 局長賞 1 件と、他の 6 件を含めた、合計 11 件の機器・システムが表彰対象に選考されました。

受賞された何れの機器も、開発に携わった研究者・技術者のご尽力が結実した素晴らしい成果であり、また、我が国の省エネルギー技術や脱炭素技術を一層高度化する上で非常に重要なものであります。受賞者の方々に心から敬意を表しますとともに、ご多忙の中、精力的に審査にご尽力頂いた委員・幹事の方々をはじめ、関係者の皆様に、改めて厚く御礼を申し上げます。

最後になりますが、本日ご列席の皆様方のますますのご発展をお祈りいたしまして、私の式辞とさせていただきます。ありがとうございました。

令和4年度優秀省エネ脱炭素機器・システム表彰一覧

賞	分類	表彰機器・システム名	表彰対象者名	本社所在地
経済産業大臣賞	脱炭素	電動式フォークリフト(FE25-2、FE30-2)	コマツ	東京都港区
資源エネルギー庁 長官賞	省エネ	高効率二段過給ガスエンジン(KG-18-T)	川崎重工業株式会社	兵庫県神戸市
	省エネ	電源力率・電源効率改善型PWM制御誘導加熱インバータ	島田理化工業株式会社	東京都調布市
中小企業庁長官賞	脱炭素	アルミニウム成型コイルを用いた高出力密度・高効率モータ(ASTERMOTOR®)	株式会社アスター	秋田県横手市
産業技術環境局 局長賞	脱炭素	ロスフィルムを原料に変えるペレット再生装置(eco ペレGP2)	株式会社マルヤス	愛媛県新居浜市
日本機械工業連合 会会長賞	脱炭素	吸着材蓄熱システム(メガストック®)	高砂熱学工業株式会社 以下、共同申請者： 東京電力エナジーパート ナー株式会社 石原産業株式会社 森松工業株式会社 日野自動車株式会社 (国研)産業技術総合研 究所	東京都新宿区 東京都中央区 大阪市西区 岐阜県本巣市 東京都日野市 東京都千代田区
	脱炭素	エネルギーマネジメントシステム(Synergy Link)	株式会社ダイヘン	大阪市淀川区
	省エネ	塗装用途ワーク供給装置兼ポジショナー(MOTOFEEDER TILT)	株式会社安川電機	福岡県北九州市
	省エネ	鉄道車両用同期リラクタン্সモータシステム(SynTRACS®)	三菱電機株式会社	東京都千代田区
	省エネ	脱炭素対応 工作機械省エネシステム(ECO suite plus)	オークマ株式会社	愛知県丹羽郡
	脱炭素	メタネーションシステム(HiMethz)	日立造船株式会社	大阪市住之江区

注)資源エネルギー庁長官賞、日本機械工業連合会会長賞の表彰機器・システムは応募受付順

<お問い合わせ先> 一般社団法人 日本機械工業連合会 業務部 多並(たなみ)

TEL:03-3434-5383 E-mail:t.tanami@jmf.or.jp



競輪の補助事業 この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。

<http://jka-cycle.jp>

〔業務部〕